

## maze コース解説

静岡 OLC 大橋陽樹

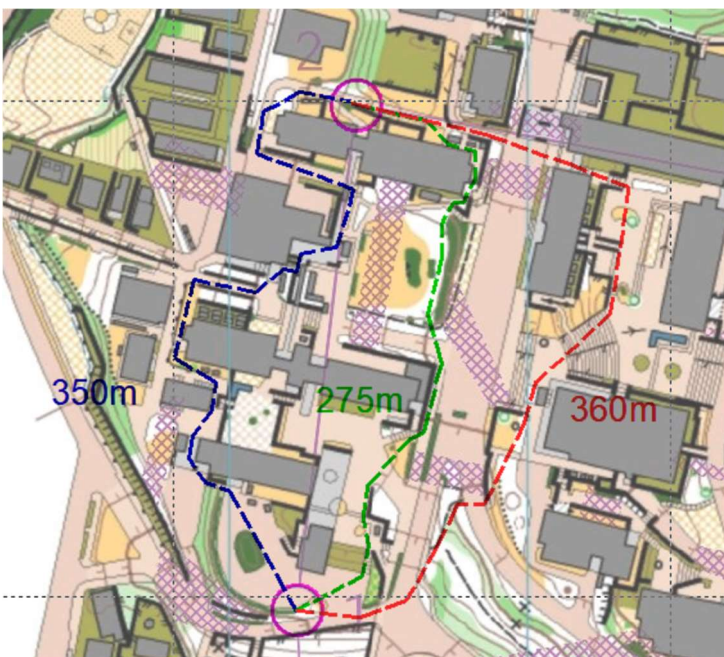
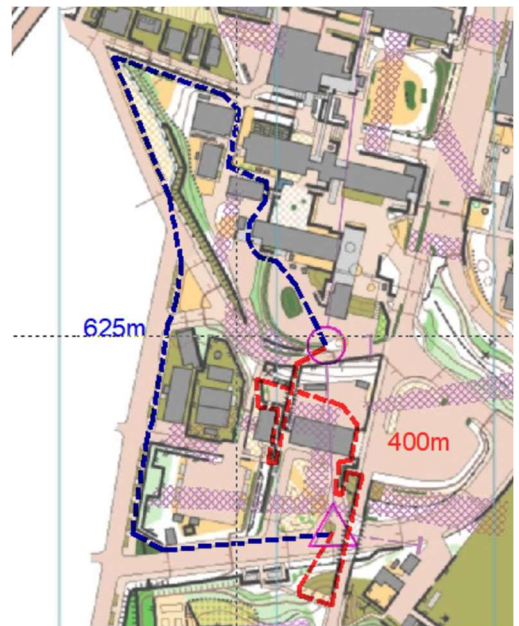
### はじめに

このコースはオリエンテーリングというよりは maze なので、ルートが見つけれなくても悲観しないでください。でも高負荷でのルートファインディングとルート記憶、ラインや特徴物の乗り換えはいい練習になるはず。ラインや特徴物の乗り換えの練習をしておくフォレストでも役立ちます。慣れたスプリントトレインでもたくさん立ち禁を掛けたりライン O にしたりするとスプリントにもフォレストにも活きる練習ができます。

### △→1

まずは maze っぽく細いところをうねうねと。青に逃げることはできるが赤で行ってほしい。

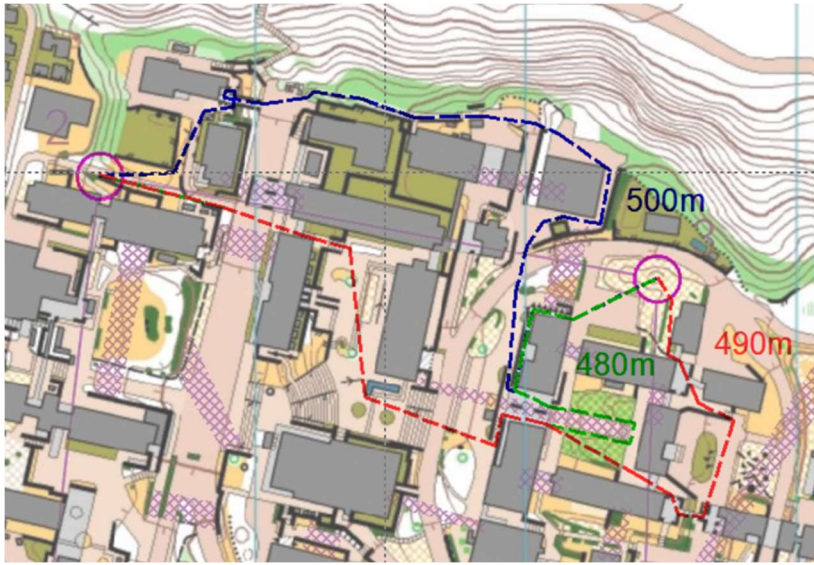
始点と終点と両側から探していくとルートをつなげやすいだろう。



### 1→2

まっすぐは行き止まりっぽい…。左は細かくうねうねしてやっかいそう…。右がシンプルで無難そう！となって右を取りそう。速いのはまっすぐの緑。初見で立体交差の細い部分が通れることを読み取るのはなかなか困難。

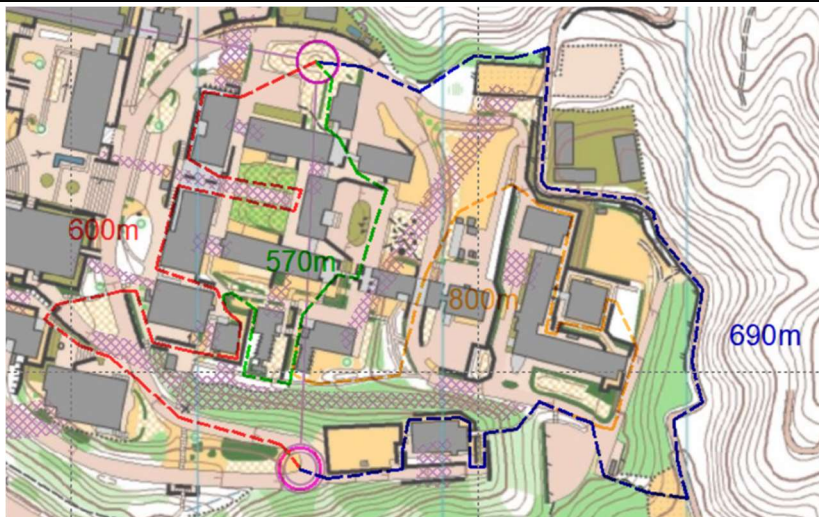
スプリントでは、無難なルートを見つけた時により良いルートを探すか否かの決断を次々と迫られる。今回は、「赤は無難そうに見えて結構距離が伸びている」ところを感じてもらえるといいかも。80m の差はでかい。



### 2→3

ルートチョイスのあるレグ。まずはルートを発見できるかどうか。一つ見つけるのでやっという人も多かったかもしれない。次に距離の違いが分かるかどうか。まあよくわからないという人が普通だと思う。よくわからなければ同じくらいだろうと思えるくらいにルートを読む経験を詰めていると良い。

今回も実際距離はあまり変わらない。赤は細かなキャンピ部分のナビゲーション、青は未舗装部分が減速要因として大きそうなので、緑がベスト。



### 3→4

ルートチョイスのあるレグ。まずはルートを発見できるかどうか。一つ見つけるのでやっという人も多かったかもしれない。立ち禁に誘導されてルートを探していくと黄を見つける人が多そう。青は盲点となるルート。これが見えるくらいに視野が広い人はすごい（が、藪と登りが多いので速くはないだろう）。ぐちゃぐちゃしているときにはそれらをスキップする大回りルートがないか確認するのは大事。次に距離の違いが分かるかどうか。複数のルートが見えた人は黄が長いことはわかってほしい。

速いのは緑。